

ひまわりライス通信

H29.8月
No.98

皆さんこんにちは、伊藤です。7月はうだる暑さが続きましたが8月に入ったら急に秋の空になりました。あつという間の夏だったような気がします。皆さんはいい思い出作れましたか？私は、これから作ります！（^-ω-）♪ホリホリ それでは、今月も元気についてみよう～（.>ω.<）b`.:+.°ヨロク。+:.



7月25日頃には、出穂期に入りました。出穂とは、稲穂が出てくることを言います。

白い小さく咲いているのが、お米のお花です。咲いている期間は、一つの花でたったの、2時間程度。



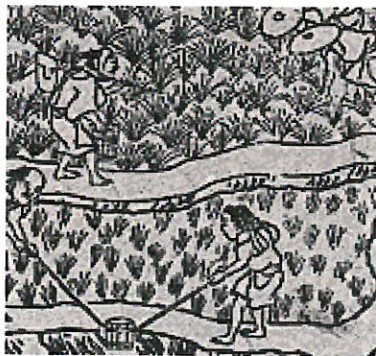
出穂後は、稲は葉で光合成をしてブドウ糖を生産し、穂に送り込んで溜めます。これが、私たちが食べるお米になるんです。収穫を増やす為には、これから好天が続く光合成量が大きくなるのが最も大切なんですよ！

そしてもう一つ大事なのが、水管理！開花・受精後の米粒は急速に生長していくので、かなりの水分を必要とします。でも、やりすぎは禁物。浅水程度に水を入れ、その水がなくなったら1～2日そのままにして、また浅水を入れる！こうすることで根の老化を防ぎ、新鮮な酸素も供給できるのです。この時期のこまめな水管理ができたかどうかによって収量と品質に差がでてくるんですよ。



出穂してから怖いのが、カメムシの被害です。カメムシに食べられと、黒い斑点になり被害粒となって色選判別機で弾かれてしまいます。

カメムシ被害やイモチ病などに遭う前に、地域別に定められた防除基準にしたがって防除していきます。広大な土地ではラジコンヘリコプターで撒くのが、今では主流です。（・▽・）へー



昔の人は、防除や田んぼの水入れは、すべて人の手でやっていたそうです。改めて、便利な世の中になったなあ、と思いますね。（.-ω-。）（写真は江戸時代）

お盆過ぎれば、稲穂もだいたいぶ頭が垂れてきました。いよいよ、来月から稲刈りが始まります。このまま、台風もなく無事に生長してくれることを祈るばかりです。（>人<*）

みんな知ってる～？一粒のお米から何粒のお米がとれるか？種の品種やお米の育ち方によってバラつきはありますが、一粒のお米から芽が出て、その苗が平均6本の茎に分かれそこから出てくる一つの穂に約70～100粒の籾が実ります。ということで、お米一粒で約500粒位のお米を突らせることができるんですよ♪ また、種の種類で多収品種（道内では、そらゆたか たちじょうぶ など）というお米がありますが、その中にはお米一粒で、1,000粒以上のお米を突らせるのもあるそうですよ。



今月も最後までお付き合い下さり、ありがとうございました。いよいよ、来月から稲刈りが始まります。稲は今登熟期を迎えています。太陽の恵みを受けて、美味しくなっていますように。それでは、来月号で(^_^)

J Aきたそらち北竜支所 営農課
直通 0164-34-2247 FAX 0164-34-2216
生産情報公表 J A S のHPアドレスは <http://www.hokuryu-mai.com/>